

# サービス通信

No. FAS-013

富士重工業株式会社

発行 45年1月26日

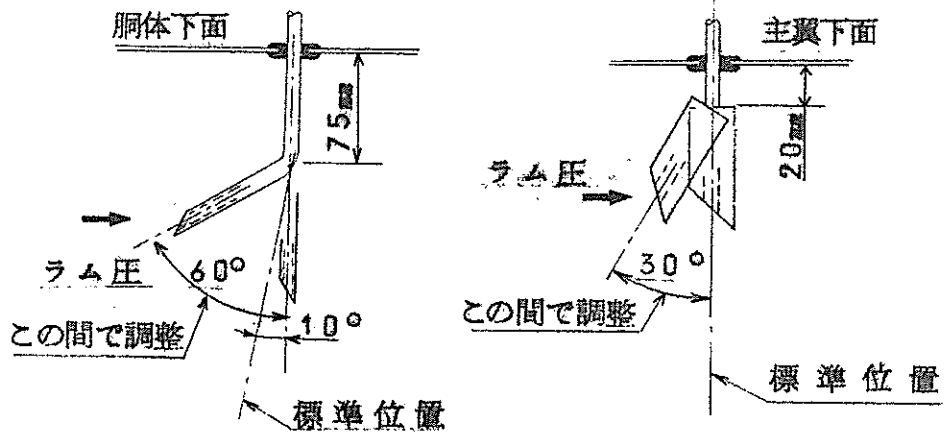
航空機技術本部

1. 標 題：燃料の片減り調整について
2. 適用機体：FA-200シリーズの機体で製造番号#1~#101号機に該当する機体
3. 適用度：必須事項
4. 目 的：燃料片減りの調整を妥当な方法に徹底統一するため
5. 指 示：いかなる飛行を通して燃料計左右の指示差が $\frac{1}{2}$ を越えることのないよう主翼燃料タンクのベントを調整すること。調整手順は13項に従うこと。
6. 実施時期：燃料計左右の指示差が $\frac{1}{4}$ を越える燃料片減りがある時、または左右燃料タンクの燃料残量レベル差が50mmを越えた時
7. 承 認：航空局承認済(航317)45, 1, 26
8. 所要部品：なし
9. 特殊工具：なし
10. 重量重心：変化なし
11. 準拠資料：なし
12. 所要工数：僅 少
13. 手 順：減りの少ない側の燃料タンクベントチューブをラム圧が増すように曲げる。但し曲げ角度はS/N1~55号機までの機体では0~6.0°までS/N56号機以降の機体では0~3.0°までの範囲で調整する。

- 注意
- 1) ベント口の向きはラム方向に正対させること。
  - 2) 減りの多い側のベントチューブは標準位置とする。
  - 3) サンプタンクベントチューブは調整しないこと。

1.3-1. ベントチューブの正規形状と調整範囲

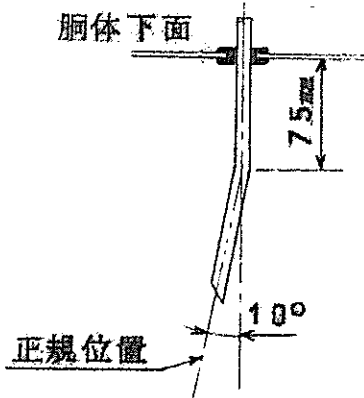
(1) 主翼タンクベント



S/N 1~55迄の機体

S/N 56~101迄の機体

(2) サンプタンクベント



1.3-2. 調整量の目安

片減調整量	修正曲げ角度	
	S/N1~55号機迄	S/N56~101号機迄
1/8	15°	7.5°